

か
わ
じ
ま



議会だより

12月定例会

No.108

平成27年1月26日

12月定例会審議結果

委員会の動き

所管事務調査報告

一般質問 町の考え方を問う



町の発展に新たな決意



議長 菊地 敏昭

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい2015年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、2月の記録的な大雪で町内でも多くの被害があり、砂災害、さらには御嶽山の噴火などの自然災害が発生し、甚大な被害と多くの尊い命が犠牲となりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、昨年12月に衆議院の解散総選挙が行われ、第3次安倍内閣が発足しました。デフレ経済からの脱却や地方創生の取り組みなど、更なる景気回復を期待するところであります。また、全国的な人口減少問題や少子高齢社会を背景とした医療、介護、年金といった持続可能な社会保障制度の確立、さらにはTPP問題をはじめとした農業改革な

ど、重要な課題が山積しており、国の動向にも注視してまいりたいと思います。

このような中、圏央道は今年中には埼玉県内全線開通する見込みであり、川島町では、この立地条件を生かしたインター・チエンジ周辺開発がさらに加速するのを期待するものであります。町議会といたしましても鋭意、川島町の発展に新たな決意をもつて努めてまいる所存であります。議会に対しましてご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申上げます。

今年は、未年で、動物では羊になります。羊は群れをなし行動するため、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。本年が皆様にとりまして、穏やかで幸多い一年となりますようご祈念申し上げ、年頭



←前列右から

山田 敏夫 議員

吉田 豊子 議員

佐藤 芳男 議員

石川 征郎 議員

小高 春雄 議員

飯野 徹也 議員

菊地 敏昭 議長

爲水 順一 議員

尾崎 宗良 副議長

栗岩 輝治 議員

森田 敏男 議員

新井 悅子 議員

失会該めを選ばれ、道祖土証明を提出し公職選舉法の規定に川島町に届け出た候補者13名に川島町に当選し、同日で川島町議会に就任しました。議員の資格がなくなりました。



定例会 議案審議結果

平成26年12月定例会は、11月28日から12月5日までの会期8日間で開催されました。主な議題は、条例制定1件、条例の一部改正3件、条例廃止1件、補正予算6件、町道路線の廃止1件、人事案件1件を審議しました。また、一般質問は5人が登壇し活発な質問が展開されました。

条 例

■議案第56号 川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて

人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、川島町議会議員、町長及び副町長並びに教育長の期末手当の額を改定するものです。

【賛成多数・可決】

■議案第57号 川島町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

人事委員勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ一般職員の給与を改定するものです。

【全員賛成・可決】

■議案第58号 川島町いじめ防止対策推進条例を定めることについて
いじめ防止対策推進法が施行されたことに伴い町における、いじめ防止等の対策を総合的かつ効率的に推進するため新たに条例を定めるものです。

【全員賛成・可決】

■議案第59号 川島町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を定めるこ

とについて

中国残留邦人等の円滑な帰国を促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律が改正されたことに伴い、条例を改正するものです。

【全員賛成・可決】

■議案第60号 川島町ねたきり老人等手当支給条例を廃止する条例を定めることについて

高齢者福祉の増進を図るため支給してきたねたきり老人等手当については介護保険制度の充実により介護の負担軽減が図られているため手当を廃止するものです。

【継続審査】

補 正 予 算

●川島中学校体育館柱頭補修工事 210万6千円追加

●幼稚園就園奨励費補助金（私立） 171万5千円追加

●ふるさと納税寄附者謝礼 200万円追加。 **【全員賛成・可決】**

■議案第63号 平成26年度川島町学校給食費特別会計補正予算（第1号）

児童生徒数が当初見込みより増加したことより学校給食費等を追加するものです。

【全員賛成・可決】

■議案第64号 平成26年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第2号）

人事院勧告に伴う職員の期末手当を追加するものです。

【全員賛成・可決】

■議案第65号 平成26年度川島町水道事業会計補正予算（第2号）

人事院勧告に伴う職員の期末手当を追加するものです。

【全員賛成・可決】

■議案第68号 平成26年度川島町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ876万8千円を追加するものです。

（主なもの）

●災害等廃棄物処理業務委託料 208万円追加

【全員賛成・可決】

一般会計補正予算で道路修繕費等を追加

委員会のうごき



道路工事

●平成26年度川島町一般会計補正予算（第4号）

道路維持費の委託料で、舗装や側溝等の整備及び修繕についてどのような方針で対応しているのか。

委託料の舗装修繕については、軽微なものは職員が対応し、ある程度大きい補修は業者に委託して

います。経年劣化した舗装道路の補修依頼が多く、今回補正予算をお願いしています。

また、近年のゲリラ豪雨、集中豪雨に伴い、側溝が雨水を排水しきれなくなり、住民の方や区長から側溝清掃の要望が多く出ております。

当初予算で委託料の見込みが少なかつたのではないか。

答 当初の予算計上よりも地域の要望が多く申請されたため、今回補正するものです。

問 年度当初の区長業務の引継ぎの中で、砂利配分の要望が遅れ、申請されなかつた場合はどのように対応になるのか。

答 砂利配分の要望が当初されなくとも、申請していただければ対応いたします。

問 平成の森公園の鯉のぼりの滑車を設置し、どのくらいの期間が経過しているのか。材質の問題もあると思うが、予算はどのくらい

で対応できるのか。

答 平成の森公園の鯉のぼりの支柱は、15年程度経過しています。修繕の金額は、約15万円の予定です。

また、材質については、今後のメンテナンスを考えて修繕いたします。

●町道路線の廃止（町道3287号線）

答 払い下げを希望された方を伺いたい。

問 この土地については、ドラッグストアが進出予定と伺っており、敷地、道路を一体的に利用したいということでお払い下げの申請が提出されました。

問 普通財産で賃貸契約をした後に、土地が返還された場合はどうなるのか。

答 賃貸借の返還にあつては、原則は更地返還となります。地権者の更地分と町有財産分についての



平成の森公園の鯉のぼりの支柱

利用を考える中で、道路の現状回復ということになると思います。



道路工事

や側溝等の整備及び修繕についてどのような方針で対応しているのか。

委託料の舗装修繕については、軽微なものは職員が対応し、ある程度大きい補修は業者に委託して

います。経年劣化した舗装道路の補修依頼が多く、今回補正予算をお願いしています。

また、近年のゲリラ豪雨、集中豪雨に伴い、側溝が雨水を排水しきれなくなり、住民の方や区長から側溝清掃の要望が多く出ております。

当初予算で委託料の見込みが少なかつたのではないか。

答 当初の予算計上よりも地域の要望が多く申請されたため、今回補正するものです。

問 年度当初の区長業務の引継ぎの中で、砂利配分の要望が遅れ、申請されなかつた場合はどのように対応になるのか。

答 砂利配分の要望が当初されなくとも、申請していただければ対応いたします。

問 平成の森公園の鯉のぼりの滑車を設置し、どのくらいの期間が経過しているのか。材質の問題もあると思うが、予算はどのくらい



平成の森公園の鯉のぼりの支柱

「いじめ防止対策推進条例」を制定

●川島町いじめ防止対策推進条例を定めることについて

協議会の構成メンバーは。

組織については、学校や児童相談所、法務局、警察のほかに民 生委員・児童委員協議会、保護司連絡協議会、学校等を関係機関とし、20名以内で組織していく予定です。

重大事態の組織対応は。

組織としては学校での専門委員会、教育委員会の附属機関としていじめ問題対策委員会、町長の附属機関として、いじめ問題調査委員会の3つの組織をつくります。

問 異なる程度の事例を重大と捉えるのか。

答 いじめにより子どもが自殺しようとした、身体に重大な障害を負った、金品をとられた、精神的なショックで学校に登校できなくなった、年間で30日以上学校を欠席する場合に、直ちに組織的に対応するものです。

●川島町ねたきり老人等手当支給条例を廃止する条例を定めることについて

現在支給している方は何名か。

14名です。

補助額はどのくらいか。

条例が制定された当時は、県の2分の1の補助がありましたが、介護保険制度が始まり平成14年に県の補助金が打ち切られました。それ以降は町単独で月額5千円を支給しています。

条例を廃止する理由を伺いたい。

答 介護保険制度の中で、居宅サービス費に関しては、平成12年度と比べ、7・2倍の約5億円のサービス費がかかっています。今まで、家族の中で面倒を見ていたものが、社会の中で面倒を見る仕組みに変わっています。

このように子どもが自殺しようとした、身体に重大な障害を負った、金品をとられた、精神的ショックで学校に登校できなくなった、年間で30日以上学校を欠席する場合に、直ちに組織的に対応するものです。

このことから、家族介護の負担軽減が図られており、条例の目的は達成したものと考えています。また、ケアマネージャーなど

を通じ啓発を図ってきましたが、対象者があまり増えなかつたということもあります。さらに、現在支給を受けている方に、制度廃止について意見を聞いたところ、廃止されてもやむを得ないという声を聞いています。

このようなことを総合的に勘案し、介護保険制度が充実している中で、今後、地域の実情に応じたサービスを提供していくための地域包括ケアシステムの構築に向け取り組んでいくため、ねたきり老人等の手当支給の廃止を提案いたしました。

地域包括ケアシステム



町の考え方を問う

町政一般質問要旨

平成 26 年 12 月 4 日に一般質問が行われました。

*一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

**栗岩
輝治 議員**

・地域公共交通事業のバス運行廃止につ

いて
・新庁舎建設について

・町民の声を反映させる体制について

新井 悅子 議員

・小型家電リサイクル法について
・空き家対策について
・川島町老人福祉施設「やすらぎの郷」
の名称について

吉田 豊子 議員

・ふるさと納税制度について
・愛される新庁舎について
・町内におけるヤード等について

佐藤 芳男 議員

・地方自治の観点からの行政の方針につ
いて
・教職員の労働環境の改善につ
いて



**問 庁舎建設工事のコストダウンを
答 建設計画見直しの予定はない**

くり
栗 いわ
岩 てる
輝 じ
治

問 新庁舎建設は、基礎工事中です
が、共産党が実施したアンケートで、
工事が進行中でも、無駄な展望台な
どを無くすなど「コストダウンを図
れ」等の意見が集中しています。

答 政策推進課長 建設計画の見直しの
必要性はなく予定もありませんが、
補助金を活用しコストダウンに努め
ます。

問 大幅な工事変更の場合、工事請
負契約款には違約金についての記
述は無いのです。

答 政策推進課長 約款では、工事の変
更等も想定される違約金の定めはあ
りませんが、変更の内容により大幅
な費用が発生します。



建設中の新庁舎

問 政策推進課長 バスが通った地域に
2人の乗車数が見込めないため、地
域公共交通会議で中止を決めました。
答 政策推進課長 バスのテスト運行の結果を踏
え地域ごとに出向いて意見聴取して
はどうか。

答 税務健康福祉課長 町県民税は、税法上
定められた計算方法で行っており当
町が特別に高いわけではありません。
国保税は、医療費の増加傾向もあり
財政運営が厳しく引下げは困難です。
が引下げは出来ないか。

問 政策推進課長 外構、付属施設、南
駐車場整備などで、本体工事の成り
行きを見て発注します。

問 リレーバス・町民バスが、1年
間のテスト運行を経て12月末で中止
となつた経緯は。



整備の進む遠山記念館へのアクセス道



答

問

町の観光施策の課題は 新たな観光資源の発掘が 課題と考える

飯 いい
野 の てつ
徹 や
也 ゃ

町の観光振興については、第5次総合振興計画において3つの基本施策の下、8つの行動計画が示されています。計画の実施状況、問題点、今後の課題について伺います。

答 農政産業課長 観光イベントを年間を通して計画的に実施し、遠山記念館・直売所など観光施設・お歳暮や苺・いちじくなどの特産品を観光資源と位置づけています。サイクリングの設置補助等を通じ自転車での来客の受け入れを進めています。また、観光看板については白鳥の飛

来地、B級グルメの案内看板を設置しています。さらに周辺市町村と連携したイベントの開催、テレビ等のメディアを利用したPRも行っています。

今後は町の特徴を生かした新たな観光資源の発掘とPRの推進が重要な課題だと考えております。

問 高さ2mを超える屏を巡らし、周囲の目を遮断した施設をヤードと総称しています。法に基づかない施設の中には、周囲から遮断された空間で違法な車や農機具の解体などが行われているケースもあるとのことです。

答 町民生活課長 町内で11か所の施設を把握しており、県の環境管理事務所や建築安全センター東松山駐在などを連携し調査指導しています。さらに町の環境保全条例を見直しして対応できるように考えております。



問

ボランティア活用方針は 自発的活動を支援します

佐藤芳男

問 地方に権限の移譲が進み、医療・介護・子育ての分野で町の責任も重くなりました。少子高齢化社会を迎え、費用の増大を抑え、より良いサービス提供のため、地域の実情に沿った知恵と工夫が求められています。町民の行政への参加、特にNPO・ボランティアと一体となつた制度の構築が必要と考えます。

答 総務課長 住みよい地域社会実現のため、環境美化活動団体が18、町内全域をカバーする防犯活動団体18など、様々な取り組みが行われています。地域コミュニティ醸成のボランティアの活用と今後の展望は。

答 健康福祉課長 今回の法改正の大きな狙いは、医療・介護の必要な人が入院・入所だけでなく、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう地域包括ケアシステムを構築することになります。ボランティアの活用システムの担い手として重要な存在と考えます。社会福祉協議会及び地域包括支援センターと協力し目的別ボランティアを育成、活用しています。

問 公民館等生涯学習においてのボランティアの活用と今後の展望は。

答 生涯学習課長 公民館の行事は、準備・参加者の募集運営など地域の皆様のボランティアに支えられています。平成25年度は1000人以上のボランティアに協力いただきました。



地域子ども教室の様子

川越地区消防組合議会

山田 敏夫
爲水 順二

川越地区消防組合議会第4回定例会が10月2日に開会されました。

議案第11号平成25年度川越地区消防組合一般会計歳入歳出決算認定については、収入済額47億40

03万1310円、支出済額45億4765万5015円とするもの

です。歳入の主なものは消防組合負担金で、川越市と川島町の共通経費、43億5093万3509円

で最も多く、ほかは繰越金、消防施設整備事業費、国庫補助金などです。

歳出で主なものは、職員の給料及び報酬、一般管理事務費のほか、車両整備に1億8450万6千円、資機材整備に2892万9432円、消防通信整備に5052万7026円でした。

監査委員から意見書の概要説明を受け、質疑等審査を行った結果、議案を認定することに決定いたしました。

議案第12号川越地区消防組合消防長及び消防署長の資格を定める条例を定めることについては、消防組合法の改正に伴い地域の自主性を高めるための条例を定めるもの

です。議案第13号消防デジタル無線の取得については、消防無線のデジタル化に伴い整備するもので、いずれも原案どおり可決されました。

後に公平委員会の選任と一般質問が行われ閉会いたしました。

(爲水)

道祖土証議員が、川越地区消防組合議会議員を辞職したことにより、12月議会定例会で新たに石川征郎議員が、川越地区消防組合議会議員に当選されました。

川越地区消防組合

議会議員を選出



建設中の役場新庁舎を視察

12月5日、議会議員が建設中の新庁舎を視察いたしました。

建設現場では、工事業者から工事の進捗状況等について説明がありました。



庁舎建設現場を視察



1月の進捗状況

新庁舎建設工事は、10月に杭打ち作業が完了し、12月までに基礎工事が完了しました。現在は1階部分の工事が進んでいます。

今年度中には2階部分までの工事が完了し、概ね、新庁舎の形状が確認できることとなります。

平成27年度は、本体工事に続き

外構工事等に順次着手していくます。平成27年10月頃には、外構を含め、庁舎建設を完成させる計画となっています。

なお、川島町新庁舎建設工事の進捗情報は、町ホームページでご覧になれます。

議会日誌

11月

- 28日～5日 12月定例会
28日 議会運営委員会
議会報編集委員会

12月

- 5日 議会運営委員会
議会全員協議会
新庁舎建設現場視察
10日 番号法(マイナンバー法)
研修会

1月

- 9日 議会報編集委員会
11日 成人式
15日 議会報編集委員会



(研修の様子)

- ①保健委員等の関係団体の協力体制
②事業に伴う医療費削減の効果
③健康づくり活動の取り組み
④健康長寿サポートセンター事業の内容について

お互いに意見交換をしながら有意義な研修会が行われました。

視察目的は、川島町の「特定健診受診率向上対策と健康づくり活動について」であり、主な研修内容は左記のとおりです。

10月21日に宮崎県木城町議会の総務常任委員会が所管事務調査研修に訪れました。

今年最初の議会だよりの表紙写真は、1月11日に行われました「成人式」での一枚です。今年は183人の新成人が成人式に参加し、門出を祝いました。

会場では、晴れ着姿の新成人の笑顔があふれ、久しぶりに会った友人と楽しそうに会話をしました。

これから皆様が、社会に貢献できるすばらしい社会人になりますよう祈っています。そして、若い力で地元川島町を更に元気な町にしてくれますことを大いに期待しています。

(文章／尾崎)

議会を
傍聴しませんか?

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。
議会定例会は3月、6月、9月、
12月に開催されます。誰でも議会を傍聴することができます。

表紙解説

編集後記

年も変わり晴天に恵まれて新年を迎えることができました。昨年を振り返ってみると、全国的に自然災害が多く発生した年でした。被災にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。町内においても約1年前に大雪のため甚大な被害があり、対応に追われたのも記憶に新しいところです。異常気象といわれる近年ですが、今年は羊の性格のように穏やかな年であることを祈るばかりです。

さて、議会報編集委員会では、皆様に見やすく、分かりやすく、拝見いただけるよう努めてまいりましたが、改選のため、現委員での発行は今号で最終となりました。これまでご愛読いただき大変ありがとうございました。(爲水)

議会報編集委員会

相談役	菊新	栗井	岩敏	輝順	水敏	田宗	崎良	委員長	尾崎
昭子	地井	敏悦	昭子	治	昭子	治	昭子	委員	員